

生徒質問紙から 令和元年度 境港市立第二中学校

【十分に満足いく結果のもの】(全国比を上回ったもの、又は90%以上が肯定的な回答)

質問事項	選択肢	二中	全国
朝食を毎日食べてますか	している どちらかといえばしている	92.7	93.1
毎日、同じくらいの時刻に寝てますか	している どちらかといえばしている	85.4	78.0
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	している どちらかといえばしている	94.5	92.8
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	当てはまる どちらかといえば当てはまる	84.4	81.5
ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	当てはまる どちらかといえば当てはまる	97.2	93.9
学校の規則を守っていますか	当てはまる どちらかといえば当てはまる	96.3	96.2
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	当てはまる どちらかといえば当てはまる	96.4	95.1
人の役に立つ人間になりたいと思いますか	そう思う どちらかといえば、そう思う	91.7	94.3
地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか	当てはまる どちらかといえば当てはまる	41.3	39.4
学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいると思いますか	当てはまる どちらかといえば当てはまる	70.7	65.6

【課題があるもの】 (全国比を5%以上下回ったもの)

質問事項	選択肢	二中	全国
【自分と生活習慣に関すること】			
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	している どちらかといえばしている	34.9	50.4
学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日にどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾や家庭教師含む)	1時間以上	59.6	69.8
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか	当てはまる どちらかといえば当てはまる	65.1	70.3
【自分と地域に関すること】			
今住んでいる地域の行事に参加していますか	当てはまる どちらかといえば当てはまる	41.2	50.6
日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか	当てはまる どちらかといえば当てはまる	53.2	59.3
【自分と学校生活に関すること】			
家の人と学校での出来事について話をしますか	している どちらかといえばしている	69.7	76.4
1, 2年生の時に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか	当てはまる どちらかといえば、当てはまる	44.9	55.8
生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	当てはまる どちらかといえば、当てはまる	66.1	72.8
授業で学んだことを、ほかの学習に生かしていますか	当てはまる どちらかといえば、当てはまる	64.2	74.9

【分析と今後の取り組み】

《分析》

- 毎日朝食を食べている生徒の割合、就寝・起床時間等からは基本的な生活習慣については、ほぼ定着し、落ち着いた生活を送っているように思われる。
- 規則やきまりを守ろうとする規範意識が高く、いじめを許さない意識も高い。
- 物事を前向きにとらえる生徒の割合が比較的多く、自分を生かし、人や地域の役に立とうとする気持ちをもっている。
- 家庭学習の項目を見ると、勉強時間が1時間以上取り組んでいる生徒の割合が全国に比べ10%低く、勉強時間が30分より少ない生徒の割合が、全国の約2倍に上っている。このことから、全体的に勉強時間が少なく、自分で計画を立てて勉強できていないと考えられる。
- 地域やボランティアに対する意識はあるが、実際に行事等に参加した生徒はまだ一部に限られているようである。
- 授業での話し合う活動では、人の話を聞くことはできているが、自分の考えをまとめ、伝えたり、発表したりすることが苦手である。

《今後の取り組み》

【生活習慣に関すること】

- ◎適度に課題を設定し、家庭学習の充実に努めていきたい。また、生活ノートによる日々の振り返りやテスト前における学習計画・記録の作成、点検・評価など、家庭と連携を深めながら時間を有効に利用できるように取り組んでいきたい。

【地域に関すること】

- ◎ボランティア活動の推進とともに、地域と関わりを持つ機会を増やし、地域への関心を深め、地域へ貢献しようとする意欲の向上をはかっていきたい。

【学校生活や学習に関すること】

- ◎学校行事や学級活動において、個々の生徒が主体的に話し合い、企画・運営したりする経験を積み、達成感を味わうことで、自己有用感や集団への所属感を高めていきたい。その中で、仲間とのつながりも意識させていきたい。
- ◎生徒たちの各教科の学習に対する関心・意欲をさらに高めていけるよう、身近な生活と関連付けながら学ぶ意義を考えさせ、魅力のある学習課題の提示や教材の開発、学習内容の工夫、ICTの活用などに努めていきたい。
- ◎各教科の授業において、協同学習の理念をもとに授業構想、授業展開を組み立てる。授業では次のポイントを意識する。
 - ①学習のめあてを具体的に示し、生徒がめあてに対する自己の振り返りができるようにする。
 - ②概念、法則、意図などを理解し、学習したことをもとに説明したり、活用したりする。
 - ③互いの考えを伝え合い、自らの考えを深め、広げる。